

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	伝統的古民家再生と地域資源の活用を通じた新たなコミュニティの創出
対象地域	勝山市小原地区
活動概要	<p>勝山市北東部の山間域に位置する小原集落(集落人口:ピーク時90世帯500人超 現在3世帯 3人)は、平成18年豪雪による家屋倒壊により伝統的な集落民家が半減し、集落機能や地域コミュニティも崩壊し廃村寸前となっている。</p> <p>この状況を放置すれば、中世から続く歴史と国内有数の豪雪地帯という特性に培われた生活文化や豊富な自然資源が失われることになる。</p> <p>そこで、福井県内では特異な白山麓民家特有の形式を持つ古民家を地域再生の核と位置付け、その修復を通じた協働体制の確立する。地域資源を活用した地域活性化と地域の新たな担い手の育成による、集落存続と伝統的地域資源、自然資源を未来への財産として残すことを目指す。</p>
今年度の主な取組	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学など教育機関との協働で、伝統的古民家修復を通じて集落景観の修復を図り、あわせて大学生らとの交流による地域活性化を図る。 また、修復民家を拠点とした伝統的生活文化の継承や研修会・交流体験などの試行により、地域資源の有効活用を図る。 2. 集落及び地域一帯の新たな魅力を感じられる古道や旧跡などの地域資源や自然資源をめぐるガイドコースづくりにより新たな雇用の創出を図る。 3. 上記1. 2. の活動を通じて住民、地域出身者、大学、ボランティア、ガイドなど地域に愛着と誇りを持つパートナーによる新たなコミュニティの構築を図り、集落機能の維持管理や地域資源が持続可能な地域を創出するネットワークと運営システムの構築を図る。

活動結果	<p>古民家修復においては、伝統的民家1棟の外観が保存され、集落景観回復の一端となったのみならず、学生と大工棟梁が修復のため集落に長期滞在したことで、地域住民との交流が生まれた。また、学生に地域への愛着も生じ継続的な地域との交流が期待できる。</p> <p>伝統的集落文化継承での民家を活用した体験プログラムでは、住民調査により集落存続や伝統文化保存への住民の意向が把握できた。</p> <p>古民家や周辺古道・旧跡などの地域資源を巡るガイドコースづくりによる踏査では、コースの安全対策やガイド養成の必要性ストーリー性の欠如など今後の課題が把握されたほか、住民、行政、専門家による新たなネットワークが形成された。</p> <p>これらの地域住民の理解と多様な主体・個人との協働による活動の結果、地域資源の有効活用、伝統・生活文化の継承のきっかけづくりと実践、住民の誇りの回復、交流の活発化、新しい地域ネットワークの構築などに成果があった。</p>
当初予想していなかった効果	<p>伝統的生活文化の継承調査過程で、40数年前に途絶した神社祭礼に奉納されていた歌謡の録音テープが発見され、採譜やデータ保存に向けた活動や集落の伝統的文化である祭りの復活の可能性が生じた。</p> <p>ガイドコースは、シシ垣(旧跡:イノシシ避けの石垣)に注目したことにより学術性が加味できた。また、シシ垣研究者の全国的ネットワークの中で企画されている本の出版やシンポジウム開催などを活用した新たな交流の可能性が見出せた。</p>
実施状況(写真)	<div data-bbox="667 1160 1129 1480" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="730 1496 1189 1536">【写真】古民家修復作業の様子</p>
応募団体名	小原ECOプロジェクト
リンク	
部局/担当者名	代表 國吉 一實
連絡先	ohara-eco@nifty.ne.jp
推薦市町村名	福井県勝山市